

《課題名》 当院における緩和ケア介入依頼の動向に関する解析

《対象者》 2012年4月～2026年3月までの期間に、当院に入院され、担当科より緩和ケア介入依頼を受けた方

## 研究協力をお願い

当科では「当院における緩和ケア介入依頼の動向に関する解析」という研究を行います。この研究は、2012年4月～2026年3月までの期間に、当院の担当科より緩和ケア介入依頼を受けた患者さんの臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただきず、**このお知らせをもって説明に代えさせていただきます**。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：当院における緩和ケア介入依頼の動向に関する解析

研究期間： 2015年11月24日～2029年4月30日

実施責任者： 滋賀医科大学 臨床腫瘍学講座 醍醐 弥太郎

### (2) 研究の意義、目的について

癌を含む重篤な疾病に罹患された患者さま及びその家族が抱える様々な身体的・精神的・社会的問題に対して、医療者は疾患の早期より適切に対処することが求められます。滋賀医科大学附属病院腫瘍センターの緩和ケアチームは多職種で構成され、入院または外来患者の主治医または担当看護師から依頼を受けた症例につき、問題点の評価及び対処に関する助言等を行っています。これまでに行ってきた緩和ケア介入の状況を振り返ることにより、当院における緩和ケア介入の実態及び医療ニーズの動向を調査し、当院における緩和ケアの問題点を考察します。この研究により質の高い緩和ケア介入を目指します。

### (3) 研究の方法について

2012年4月～2026年3月までの期間に、当院の各診療科から緩和ケア介入依頼を受けた患者さん（悪性腫瘍やその他疾患）につき、依頼診療科・介入項目・転帰の動向を、統計データを元に解析し、現在のニーズの現状および課題を考察します。

### (4) 予測される結果（利益・不利益）について

参加頂いた場合の利益・不利益はありません。

### (5) 個人情報保護について

研究にあたっては、**個人を直接特定できる情報**は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。

### (6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

### (7) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 臨床腫瘍学講座 住本秀敏

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-3590 or 3591